

活動状況報告（10月）

学生留学コース 5期生 酒井 友希

10月頭にポーランド人、イタリア人、中国人の友達とノースケープ（ノルウェー）へ行ってきました。ロヴァニエミから片道12時間の旅をイタリアとポーランドの友達が交代しながら運転してくれました。ヨーロッパで最北端のノースケープの朝日が綺麗でした。この町の中へ行くと魚を干している所やノースケープの海は地元の豊浦に少し似ていて親近感を抱きました。ドライブ時間は長いので各国の音楽、食べ物、政治の話をしたのが印象深かったです。ポーランドの友達がポーランドでは政治の不透明さや社会問題について強く非難しているラッパー（mata - patoreakcja）が有名になっていると聞いて、海外の若い世代の政治へのリアクションの違いについて少し衝撃を受けました。

授業は9月と引き続きCSRやSDGsの授業を履修しており、最終エッセイを書いているところです。CSRの授業のエッセイでは観光における動物福祉をテーマに書いています。先日、Art education専攻の友達に誘われ、湿地のワークショップに参加しました。既に雪も少し積もり、雨が降っていて寒い日でした。雨具がありませんでしたが、応急措置としてビニール袋をナイフで穴を開けてポンチョ風のレインコートをみんなで被り湿地の中を1時間ほど歩きました。歩いた後は湿地で感じたこと、見たものを絵の具で描きました。とても楽しいワークショップでクリエイティビティが溢れるものになりました。日本なら雨だから中止になるところですが、雨具を作って予定をそのまま続けるのもフィンランドらしいと思いました。

日常生活では楽しむためにハイキングすることや、留学生のイベントに参加していることも多いです。ですが、一日中、学校で勉強や授業を受けている日も少なくありません。帰宅後、友達と話して息抜きなどしています。ウクライナと中国の子と仲が良いので、いつもウクライナの戦争の話が出てきます。日本にいとあまり友達と話してい慣れていなかったのも、戦争の話をするともやはり悲しい気持ちになることもあります。もちろん、明るい人に囲まれているので、たわいも無い話もよくしています。

